



『おもちゃ箱の中から』 寸評

- ・ 多彩なテンポ変化と自由な推移
- ・ 楽器の特質をよく理解した楽案&編成
- ・ アーティキュレーションとダイナミックの的確な利用
- ・ 各パートが吹きっぱなしにならず休みを意識して取らせている
- ・ 曲のしまいかたの鮮やかさ、複縦線の正しい利用

完成度をさらに上げるために

- ・ m.11クラリネット装飾音符は八分音符でよい
装飾する音符とスラーでつなぐ 
- ・ m.7 *rit.* はすべてのパートに関係するので最上段、
このばあいにはオーボエの上側につける
- ・ m.8オーボエ長い休みのあとには再度ダイナミックを
つけてあげる→大変よい習慣です
- ・ テンポ変化を伴い、曲想がドンドン変わっていくので、
発想標語があるとより親切
- ・ m.3 b.1, m.13 b.1, b.3 第3音をいれたほうが響きが充実する
- ・ m.15 b.2-4 クラリネットぜひスラーをつけよう
- ・ m.11並達5度 ソプラノとバスが同じ方向に進行して、
かつ跳躍進行したソプラノの後続音がバスと完全5度を
形成する 
- ・ m.1-4ファゴットの第2拍はオクターヴ上の根音の方が
全体の響きが安定する

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持魔 勉